

## 『砕かれるべき頑固な心！』 エレミヤ書 19章 10～15節 2015.4.19(日)

『彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。…彼は、私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒された。』イザヤ 53:4～5

神はエレミヤを陶器師のもとに導き、出来損なった粘土の器が何度でも作り直されるのを見せ、「このように、あなた方もわたしの手の中にある(18:6)」と再生の可能性を告げた。しかし民はますます頑固になり神の御声に逆らった。神はエレミヤに陶器を買わせ、ベン・ヒノムの谷へ導き、長老や祭司たちの前で粉々に砕かせて告げる「…主はこう仰せられる。陶器師の器が砕かれると、二度と直すことができない。このように、わたしはこの民と、この町を砕く。(19:11)」と。人が、柔らかな粘土のように素直に、罪も弱さも認めて告白し、全てを御手に委ねる時、神はいつでも、裁きを祝福に、呪いを平安に変えてくださる。しかしいつまでも自分の思いにこだわる頑固な心は、救われないばかりか、完全に砕かれ、裁かれる。「ベン・ヒノムの谷」とは新約聖書の「ゲヘナ(地獄)」のこと。「…見よ、その日が来る。主の御告げ！ その日には、この所はもはやベン・ヒノムの谷とか呼ばれない。ただ虐殺の谷と呼ばれる…(19:6～)」。神の言葉に聴き従わない時、人は一気に祝福から遠ざかり、関係は破壊され、争い、恨み、妬みが起こっていく。

◆「…神はおひとり…悪霊どももそう信じて、身震いしている(ヤコブ 2:19)」とある。『信じる』とは、存在を認め、救いの事実を認める「悪霊レベル」以上に、「従い、愛すること」を意味する。頑固な心は、素直に従う喜び、愛し・愛される幸せを失っていく。壊れた神の像(かたち…「愛し・愛される幸せ」)を回復していただく唯一の方法は、御声に聴き従うこと！

『いと高くあがめられ、永遠の住まいに住み、その名を聖ととなえられる方が、こう仰せられる。「わたしは、高く聖なる所に住み、心砕かれて、へりくだった人とともに住む。へりくだった人の霊を生かし、砕かれた人の心を生かすためである。』(イザヤ 57:15)』全地で崇められ、賛美されるべきお方が、低く下られた。100%正しいお方が、100%悪い者の身代わりに呪われ、裁かれた。

◆祝福か呪いかは選択できる！ 神の願いは、『常時喜悅！ 不断祈禱！ 万事感謝！』。悪魔の願いは、『いつも落ち込み、絶えず恨み、すべてに不平を言うこと』である。私たちが罪と滅びから救い、呪いに替えて祝福を注ぎ、いつも最善を計画し、万事を益としてください神を知る者は、悪魔を喜ばせる生き方は選ばない！ 神を愛する者は、心して次の言葉を聴くべきである。

『まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。(イザヤ書 53:4～5)』

人生が罪によって滅び、砕かれ、呪われ、捨てられるはずの私たちに代わって、崇められ、賛美され、全存在が御前にひれ伏すべきお方がムチで打たれ、唾を吐きかけられ、葦の棒で頭を叩かれ、愚弄され、裸にされ、罪人として処刑された。すべては、私たちを救うためだった。栄光の主が「私」に代わってボロボロに砕かれ、しかも黙って受け止め、謙られたことを知るとき、今度は私たちがこの神の前に謙り、素直に聴き従い、愛し慕う者となれないだろうか？あなたは、この神に心の傷を癒され、イエス様から平安をいただいだらうか？砕かれ、謙った心から出ているものは、ただ感謝以外にない！